

令和3年11月臨時会 提案説明要旨

(はじめに)

関西広域連合議会令和3年11月臨時会の開会に当たり、議員の皆様にご敬意と感謝を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症により、これまでに亡くなられた方々にあらためて哀悼の意を表するとともに、今も療養中の方々の1日も早い回復をお祈り申し上げます。現在、新規感染者数は落ち着きを見せていますが、今後、必ず到来すると言われる第6波に備えるためにも、ここで気を緩めることなく、構成府県市が一丸となって感染拡大防止対策に取り組んでまいりますので、議員の皆様におかれましても、引き続き、御指導・御協力いただきますようお願いいたします。

提出議案の説明に先立ち、8月定例会以降の主な取組について御報告します。

(新型コロナウイルス感染症への対応)

第1は、新型コロナウイルス感染症への対応です。

関西圏域における新規感染者数は、2府2県に発令されていた緊急事態措置が9月末をもって解除された以降も落ち着いている状況です。ワクチン2回目接種率は府県市民の7割を超えました。この機会を捉え、第6波への的確な対応を行っていくことが大切です。

私も、10月9日岸田総理に面会し、人流対策だけに頼ることなく総合的な対策が必要である旨申し上げるとともに緊急提言をお渡ししました。

11月12日、国が表明した「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像」は、医療提供体制の強化やワクチン接種の促進、治療薬の確保など、これまで広域連合が提言してきた内容に概ね即したものです。

引き続き、国と連携を図り、感染再拡大を見据えた対策に取り組めます。

(「ワールドマスタースゲームズ2021関西」の開催支援等)

第2は、「ワールドマスタースゲームズ2021関西」の開催支援等です。

10月26日の大会組織委員会理事会において、再度延期が妥当と判断し、2026年5月を会期とする方向でIMG A(国際マスタースゲームズ協会)へ提案することが決定されました。

関西広域連合としましては、引き続きスポーツ参画人口拡大につながる機会創出に取り組み、生涯スポーツの機運醸成を図るとともに、今後ともワールドマスタースゲームズ関西の開催を支援してまいります。

(2025年大阪・関西万博)

第3は、2025年大阪・関西万博の取組です。

歴史や文化に加え、ものづくりや先端医療をはじめとする関西の強みを世界にアピールするとともに、関西が世界中の関心を集める絶好の機会を捉え、来る大阪・関西万博において、関西各地へのゲートウェイとなるパビリオンを関西各府県が共同で出展する方針を決定しました。今後、万博の効果を関西全体に波及できるよう、博覧会協会や隣接で出展する大阪府市等の関係機関と密接に連携をとり、展示内容等について検討します。

(脱炭素社会実現に向けた取組)

第4は、脱炭素社会実現に向けた取組です。

先日閉幕したCOP26では、産業革命以前からの平均気温上昇を1.5度に抑えるための努力を追求すること等が採択されました。

こうした中、関西が一丸となって温暖化対策に積極的に取り組む姿勢を明確に示すことが、国内外に「環境先進地域関西」をアピールする機会と捉え、本日、広域連合委員会で「関西脱炭素社会実現宣言」を発出しました。住民、事業者、団体など多様な主体と積極的に連携しながら、環境と経済・社会活動をつなぐ好循環の創出による持続可能な関西脱炭素社会の実現を目指して、不断の取組を行います。

(関西防災・減災プラン（総則編等）の改訂)

第5は、「関西防災・減災プラン」の改訂についてです。

新型コロナウイルス感染症への対応や法律の改正、広域連合の広域防災に関する取組の成果等を踏まえ、関西防災・減災プランの「総則」「地震・津波災害」「風水害」及び「原子力災害」各編の改訂を進めており、中間案を作成したところです。12月11日の防災医療常任委員会での御意見やパブリックコメント等を踏まえながら、今年度末改訂を目指します。

(広域観光・文化・スポーツの振興)

第6は、広域観光・文化・スポーツ振興の取組です。

現在、和歌山県においては「第36回国民文化祭」と「第21回全国障害者芸術・文化祭」が行われており、文化やスポーツの重要性を改めて痛感しています。

関西広域連合では、先日、次世代への文化継承に向けた伝統文化親子体験教室をオンラインで行い、約400人に参加いただきました。また、関西圏域の文化施設入館料を無料とする11月「関西文化の日」を実施しているところです。引き続き、文化に親しむ機会の創出など、地域文化の発信に取

り組みます。

また、令和4年4月から5年間を計画期間とする「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」及び「第2期関西広域スポーツ振興ビジョン」について、中間案を取りまとめました。10月16日の産業環境常任委員会での御意見やパブリックコメント等を踏まえながら、今年度末の策定を目指します。

（広域インフラの整備促進）

第7は広域インフラの整備促進です。

北陸新幹線の大阪までの1日も早い開業を目指し、11月9日に北陸新幹線建設促進同盟会等とともに、与党及び関係省庁に対して要請活動を行いました。また、11月26日には、京都府、大阪府、関西経済連合会とともに敦賀・大阪間の整備促進に向けた建設促進大会及び中央要請を行います。高速道路網のミッシングリンク解消、高速鉄道の整備促進、空港・港湾の機能強化等についても、引き続き、国に対する要望活動等を展開します。

（地方分権改革の推進）

第8は、地方分権改革の推進です。

広域連合設立の第一のねらいであった分権型社会の実現については、設立から10年余り経た今もなお、十分な成果を得たとは言えません。そこで、我々にとって本当に望ましい地方分権の在り方とは何か、というところまで立ち返って検討するため、改めて、関西広域連合が担うべき役割、国土構造のあるべき姿等について有識者から提言・意見をいただき、分権型社会の理論的基礎の再整理を行った上で、実現に向けて取り組みます。

（提出議案の説明）

これより、提出した議案について説明します。

第11号議案「関西広域連合会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件」です。国家公務員の給与に関する人事院勧告や各府県市の人事委員会の勧告を踏まえ、会計年度任用職員に係る期末手当の支給割合を改定することから、所要の改正を行います。

（おわりに）

以上で提出議案の説明といたします。また、令和3年8月定例会提出の第9号議案「令和2年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件」もあわせてご審議いただきます。議員の皆様におかれましては、よろしくご審議をお願いいたします。